



松木島八幡社

せんぐう かぜ
遷宮の風だより 第7報

発行元

松木島八幡社第19回式年遷宮委員会

令和5年9月1日

現在の遷宮に向けた準備は“玉垣”の^{たまがき}建立^{こんりゅう}工事が進んでいます。また、稚児行列の受付、警備の手続きなどを進めています。なお、今回のたよりでは、皆さんが「知っていそうで知らない」松木島八幡社が祭る神様や総本社などについて説明していきます。

たまがき 玉垣ってなに？



神社北通りで進められる玉垣工事

玉垣とは、神社境内の周囲にめぐらされる「囲い」のことです。“玉”には^{しんせい}「神聖な」という意味があり、また、“垣”には境内を「^{かこ}囲う」という意味の組み合わせで「神聖な囲い」ということだそうです。ちなみに伊勢神宮は4重の“垣”（内側から「^{みずがき}瑞垣」、「^{うちたまがき}内玉垣」、「^{そとたまがき}外玉垣」、「^{いたがき}板垣」）がめぐらされています。

松木島八幡社では、これまで神殿側に「土塀」の玉垣が設けられていましたが、崩れる危険性がありましたので、今回の式年遷宮に合わせて、“石柱”の玉垣になります。7月中旬からきれいな御影石の石柱が建ち始めました。

きふししゃめいばん 寄附者銘板を掲示しました！

すでに確認された方も見えると思いますが、寄附者の銘板を設置しました。第19回式年遷宮にあたり多くの方から多大なご寄附をお預かりしました。寄附された方の中で銘板を掲げることにご理解を頂いた方のご芳名を記載させていただきました。皆さんの暖かいお気遣いに厚くお礼申し上げます。



まつきじまはちまんしゃ 一口メモ：松木島八幡社はどんな神様を祭るの？



松木島八幡社の石標

松木島八幡社の「八幡（はちまん）」とは、いったいどんな神様を祭っているのでしょうか。また、八幡の総本社は何処なのでしょう。

八幡社は「^{うさじんぐう}誉田別命（ほんだわけのみこと）」を御祭神とする神社とされています。誉田別命は「^{おうじんてんのう}応神天皇（おうじんてんのう：15代天皇）」の名で知られています。

八幡社は全国に4万4千社ほどあると云われ、総本社は、大分県宇佐市の「^{うさじんぐう}宇佐神宮」です。そして三大八幡宮は、京都の「^{いわしみずはちまんぐう}石清水八幡宮」、福岡の「^{はこさきぐう}筥崎宮」、神奈川県「^{つるがおかはちまんぐう}鶴岡八幡宮」と云われていますが、諸説あるようです。

今回の透かし

今回の透かしは、京都の石清水八幡宮です。平安時代に総本社^{おうじょうちんご}の宇佐神宮より勧請され、平安京の^{おうじょうちんご}王城鎮護の神社として建てられたと云われています。

